

- 厚田・浜益の介護保険在宅サービスの安定的な提供に向け、訪問看護サービスを提供する事業所を新たに支援し、事業の拡充を図ります。
- バスの運転手不足を背景に生じた交通空白地の解消に向け、本格的にA・E・Dマンド交通による公共交通手段を確保します。
- 持続可能な火葬場の管理運営のため、厚田斎場と浜益斎場を石狩斎場へ統合し、石狩斎場を改修します。
- ヒゲマ対策は、市民の安全・安心の確保を図るため、防除と駆除を実施するほか、地元猟友会など関係者と連携して対策を講ずるとともに、春期管理捕獲や日常生活圏での出没時の緊急銃猟を実施します。
- 廃棄物の安定処理を目的として、最適な処理システムを検討し、一般廃棄物処理施設整備基本計画を策定します。
- 地域農業の基幹作物であるミニトマトの安定生産体制の確立に向け、施設の効率化を図るため、集出荷施設の新設や選果設備の導入を支援します。
- 森林の多面的機能の発揮と木材の安定供給に向け、森林整備の促進を図ります。
- 漁業者が安心して操業できる漁業基盤の維持・強化に向け、漁船作業の効率化と安全性向上を図る設備導入を支援します。

6 まちの都市価値の共創

地域資源を活用した新たな価値創出や都市ブランド力の強化は、重要な課題です。官民連携で多様な取り組みを進め、魅力ある選ばれたまちとして発展させてまいります。

- 市民がまちの魅力を再発見し、市外の方や企業の本市に対する認知や関心を高め、観光や移住、企業誘致の促進につなげるため、市勢要覧を作成し、シティブロモーションなどに活用します。
- フォトコンテストを開催し魅力的な観光スポットなどを発掘・発信するとともに、デジタルマップやSNSなどを活用して本市の魅力を発信します。
- 全国のスタートアップとのつながりを構築し、市内の一次産業などが抱える課題解決と新たな産業の創出を推進します。

7 社会インフラの強靭化

市民生活の安全・安心を守るとともに、重点的な整備により、社会インフラの強靭化に取り組みます。

- 緑苑台地区と札幌市北区を結ぶ屯田・紅葉山通や新港地区の花畔中央通の整備に新たに着手するほか、花川南地区の生活道路の舗装整備を引き続き促進します。
- 紅葉山公園に新たに幼児用遊具や水遊び場を一体的に整備するほか、既存公園の遊具更新を行います。
- 厚田キャンプ場内を流れる牧佐内川ぼくさのいがわの護岸の補修整備を継続し、利用者がより安心して楽しめる環境を提供します。
- 冬期間の道路環境を確保するため、除排雪車両を増強します。
- 上下水道について、地震など自然災害時の機能保持も踏まえ、計画的に施設整備を行います。
- 冬の災害に備え、避難所運営に必要な備蓄資材を拡充するほか、訓練や防災イベントを通じて、地域防災力の向上に努めます。
- 石狩消防署の高規格救急車の更新や大型高所放水車の整備を行うほか、石狩消防団浜益北分団詰所を新築します。

おわりに

本市は、平成8年9月の市制施行から30年の節目を迎えます。平成17年の厚田村・浜益村との合併を経て、豊かな自然環境と都市機能が調和するまちづくりを進めてまいりました。また、石狩湾新港地域の発展は、私たちに未来への希望を与えてくれます。札幌圏の生産物流拠点として、データセンターや商業・宿泊施設の立地、再エネ電源の集積などにより、情報通信、商業、エネルギーなどの多様な産業が集積する地域へと発展を続けています。

新たな時代の潮流を読み、種をまき、未来を切り拓くといった過程には幾多の困難もありましたが、先人たちは夢と決意を胸に挑戦を続けてまいりました。30年の歴史は、市民の皆さまをはじめ、多くの方のご尽力の賜物たまものであり、この歴史をしっかりと受け継いでまいります。

本年は、石狩市沖の洋上風力発電に関する協議と、まちなかふれあい拠点づくりにおける文化ホール機能を有する施設のあり方の検討が始まります。これらは、「脱炭素と産業の成長」と「本庁舎周辺のまちづくり」に関し、まちの将来を描いていく上で重要な一歩です。地域の特性と強みを生かしながら環境と経済の好循環を生み出し、世代を超えて誇れるまちの未来像を市民の皆さまと一緒に考えてまいります。

令和8年度 教育行政執行方針

教育に関わる全ての人々が幸福になれる 「持続可能な教育システム」への転換



石狩市教育長 西田正人

AIやグローバル化が進む社会では、情報を選び、考え、表現し、協働する力が求められます。石狩市では、学校と家庭が手を取り合いながら、子どもたちが未来を生きる力を最大限伸ばせるよう取り組みを進めてまいります。

未来を切り拓く力の育成

確かな学力を身に付けるため、以下の取り組みを行います。

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を推進
- 単元計画の作成と授業実践、教職員研修の充実
- AIドリルを活用した習熟度に応じた学習活動の継続
- 電子黒板の計画的更新と特別教室への増設配置
- ICT活用に向けた教職員サポート体制の充実
- 東京都立杉並工科高等学校との連携協定に基づく交流事業の実施

学校・家庭・地域の連携・協働

家庭教育の支援と地域全体の教育力向上を図ります。

- スマートフォン依存改善プログラムの実施校拡大
- 児童生徒の自己管理能力を育む環境整備
- AIドリルを活用した家庭学習の充実
- 厚田・浜益地域における放課後の子どもの居場所づくり
- コミュニティ・スクールにおける学校運営協議会の熟議促進と地域学校協働活動の充実

学びを繋げる学校づくり

- 安全・安心な学習環境を推進します
- 中学校の普通教室などへ冷房設備を整備
- 紅南小学校の大規模改修工事に着手
- 生振小学校の校舎および体育館の屋上・外壁改修工事
- 花川中学校の校舎・体育館屋上改修工事
- 樽川中学校の体育館屋上改修工事
- 浜益小・中学校、厚田給食センターの解体工事
- 中学校区での授業公開と小中教員間の情報共有
- 学校組織マネジメントサイクルの充実
- 部活動の拠点校方式の導入推進

豊かな心と体の育成

- 人間関係を形成する力や社会性、自己肯定感を育みます。
- こどもの権利について学ぶ授業や教職員研修の継続
- 児童生徒が主体的に関わる校則見直しの推進

- 認定こども園・保育園などと連携した読書活動の推進
- タブレット版図書検索システムと電子書籍の活用促進
- 学校司書による専門的支援と学校図書機能の向上
- ミニコンサート、石狩市民文化祭、おしゃべりランド、あい風コンサート、The Musicの開催
- 新体力テストなどの結果分析に基づいて「体力向上プラン」の推進
- フッ化物洗口の継続実施
- 学校給食センターの設備更新と安全・安心な給食の安定的提供
- 国や北海道の交付金を活用した小学校給食費の無償化と中学校給食費の据え置き

学ぶ機会の保障

- こども一人一人の教育的ニーズに応じた環境整備を行います。
- 特別支援教育に関する教職員研修の充実
- 紅南小学校に通級指導教室を新設
- 教育支援センター「ふらつとくらぶ」の運営継続
- 石狩八幡小学校、生振小学校、石狩中学校に校内教育支援センターを新設
- 北海道教育委員会が提供する仮想空間「メタバース」への参画
- 1人1台端末を活用した「心の健康観察」の実施
- スクールカウンセラーの時間数を市費により拡充
- スクールソーシャルワーカーとの連携強化
- 「発達支持的生徒指導」やSOSの出し方に関する教育の推進

持続可能な地域社会づくり

- 文化・芸術活動を通じた地域コミュニティの活性化を図ります。
- まちなかふれあい拠点機能の検討と文化ホール実現に向けた連携
- 「いしかり市民カレッジ」石狩大博物館部への開校
- デジタルリテラシー向上を目的とした公民館講座の実施
- 公民館の冷房設備整備の継続
- 市民図書館のエレベーター改修工事と書架増設
- 「図書館まつり」科学の祭典「大人の図書館 Jazz Night」などの開催

ふるさと「いしかり」を学ぶ機会の充実

- ふるさとへの誇りとふるさとを愛する心を育みます。
- 市指定文化財の展示会や講座、小学校でのふるさと学習
- 石狩の歴史、文化、自然を題材としたテーマ展や野外講座、体験講座
- 旧石狩小学校旧校舎の公開
- 市内各所の資料を旧石狩小学校に集約し適切な保存管理
- 学校での見学学習や市民カレッジの講座を通じた産業学習
- 地域学校協働活動における児童生徒と地域の方々とのふれあい機会の創出
- 図書館を使った調べる学習コンクール「いしかりこころ」の周知と参加促進



▲教育行政執行方針全文